

GuardmasterセーフティリレーDI / DIS

10000175133 ver 00, Dwg. No: 95302401, EO: 0358, Issue 1, April 2011

クイック・スタート・ガイド - トラブルシューティング



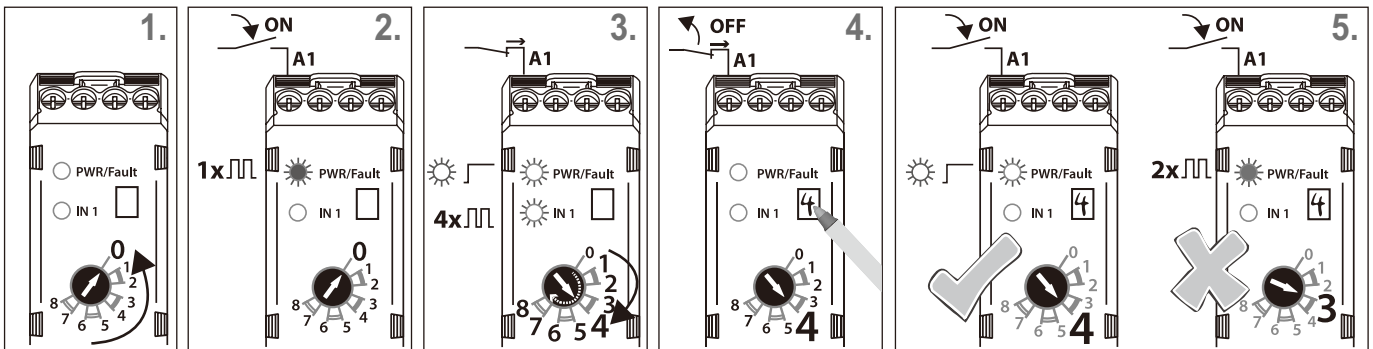
Allen-Bradley



一般的な注意

本書で示す図表やプログラム例は本文を容易に理解できるように用意されているものであり、その結果としての動作を保証するものではありません。個々の用途については数値や条件が変わってくるが多いため、当社では図表などで示したアプリケーションを実際の作業で使用した場合の結果については責任を負いません。

構成



○ 消灯 ☀ 緑色 ☀ 赤色 ㄣ 点灯
 1x ㄣ x回点滅する(点灯と消灯を繰り返す)。 ☀/☀ 赤色と緑色に点滅する。

1.	○	PWR/FAULT	スイッチをオンする前に“0”に設定する。
2.	☀ 1x ㄣ	PWR/FAULT	構成モードがアクティブです。
3.	ㄣ	B1/Logic IN	ターゲット位置を設定、「範囲」設定時はB1が点滅。「時間」設定時はLogic INが点滅。
	☀ ㄣ	PWR/FAULT	ロータリスイッチの位置を受入れた。
4.	○		スイッチをオフして、位置をマークする。
5.	スイッチをオンする前に、ターゲット位置と実際の位置をチェックする。		
	☀ ㄣ	PWR/FAULT	ターゲット位置と実際の位置と同じです。
	☀ 2x ㄣ	PWR/FAULT	電源投入時にターゲットと実際の構成が一致していない。

PWR/FAULT	フォルトモード	リセット
☀ ㄣ	回復不能なフォルト	電源を切断後に再投入する。
☀ 3x ㄣ	誤った構成 1. クロスオーバー配線が有効なときは入力ロジックがORに構成されている。 2. オンディレイまたはジョグ機能のときは、B1とB2をジャンパする。	以下の構成を行なってください。 1. “AND”に設定する。 2. ジャンパを外す。
☀ 4x ㄣ	1. クロスフォルト 2. オフディレイは再トリガ不可能であるため、遅延時間中はLogic LinkはHIGHになる。	フォルトを除去してから、安全入力をオフしてからオンする。
☀ 5x ㄣ	L11で出力テスト失敗 1. 内部原因 2. または外部クロスフォルト	フォルトを除去してから、電源を切断後に再投入する。
☀ 6x ㄣ	14, 24で出力テスト失敗 1. 内部原因 2. または外部クロスフォルト 3. または高容量の負荷(かわりに34, 44を使用する。)	フォルトを除去してから、電源を切断後に再投入する。
☀/☀ 2x ㄣ	動作中にターゲットと実際の構成が一致していない。 リレーは正しく機能しない。	ターゲット位置を設定する。
回復不能なフォルト: 内部原因による不具合。フォルトがリセットできないときは、デバイスを交換してください。		

安全入力

1. 入力1と入力2では、異なるセンサタイプ(1a)と配線タイプ(1b)を自由に組み合わせることができます(2チャンネル、1チャンネル)。
2. クロスオーバー配線: CH-1: S11-S22 (S42), CH-2: S21-S12 (S32)。チャンネル間の短絡を除去して、デバイスを有効にします(マトアプリケーション)。フォルトリセットは必要ありません。ORロジックは無効です。
3. 3a) 使用していない入力を切り離れたままにするには、入力ロジックをORに構成します(位置1, 3, 5, 7)。
3b) 使用していない入力をジャンパするには、入力ロジックをANDに構成します(位置2, 4, 6, 8)。

ロジック

4. 少なくとも1つの安全入力が閉じているか、またはL12がHIGHの場合は、安全出力がアクティブなままになります。
5. 両方の安全入力が閉じているか、またはL12がHIGHの場合は、安全出力がアクティブなままになります。
6. 少なくとも1つの安全入力が閉じていて、かつL12がHIGHの場合は、安全出力がアクティブなままになります。
7. 両方の安全入力が閉じていて、かつL12がHIGHの場合は、安全出力がアクティブなままになります。
注: L12は、使用していない場合はORロジックに構成します(図4+5)。
8. **HIGH (H)**
安全入力が正しい位置にあり(閉)、L11がオン、L12信号が有効、出力(N.C.)がアクティブ(閉)であることを示します。

LOW (L)

入力がトリップされ(開)、L11がオフ、L12信号が無効、出力(N.C.)がオフ(開)であることを示します。

カスケード

9. シリアルカスケード
 - L11と次のL12の間の最大ケーブル長: 30m
 - 最大応答時間は、計算を参照してください。
10. 平行カスケード
 - 最初のL11と最後のL12の間の合計の最大ケーブル長: 30m
 - 推奨するデバイスの最大数: 10

注: 最初のユニットのL12入力は接続してはなりません。

www.rockwellautomation.com

Power, Control and Information Solutions Headquarters

Americas: Rockwell Automation, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204-2496 USA, Tel: (1) 414.382.2000, Fax: (1) 414.382.4444

Europe/Middle East/Africa: Rockwell Automation NV, Pegasus Park, De Kleetlaan 12a, 1831 Diegem, Belgium, Tel: (32) 2 663 0600, Fax: (32) 2 663 0640

Asia Pacific: Rockwell Automation, Level 14, Core F, Cyberport 3, 100 Cyberport Road, Hong Kong, Tel: (852) 2887 4788, Fax: (852) 2508 1846

ロクウェルオートメーションジャパン株式会社

本社営業部 〒104-0033 東京都中央区新11-3-17
関西支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14
中部支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5

Tel (03) 3206-2786 Fax (03) 3206-2796
Tel (06) 6397-1020 Fax (06) 6397-1090
Tel (052) 222-7060 Fax (052) 222-7065

